

今週（4月18日から4月22日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、新しい積み期間に入り、地域金融強化のための特別当座預金制度の経過措置終了や、新型コロナオペの民間債務担保分が終了したため、調達に慎重な先も散見された。無担保コールON物は、週初は▲0.02～▲0.015%、週半ばから後半にかけては▲0.015～▲0.01%での出会い。22日は、週末要因により▲0.01%を上回る水準での出会いも複数見られるなど、週を通してレートは上昇する展開となった。無担保コールO/N物の加重平均レートは、▲0.01%台での推移となった。

ターム物に関しても、週を通して徐々にレート上昇となった。

今週の日銀当座預金残高は、先週末の年金定時払いを受け560兆円台半ばで推移した。

20日には固定利回り方式の国債買入オペ（指値オペ）が実施された。朝方に長期金利が0.250%まで上昇していた。対象は10年利付国債で、オファーは10時10分に行われた（この日の応募締切は15時であった）。10年利付国債366回の買入利回りは0.250%であり、実勢と同水準であったためか、2,251億円の応札が見られた。

20日の夕方には、21日から26日まで連続指値オペを実施することが事前に通知された。対象は10年利付国債364回、365回、366回で、買入れを行う利回り水準は0.250%。

21日には指値オペが10時10分に実施された（この日の応募締切は15時であった）。10年利付国債366回の買入利回りは0.250%であった。長期金利は0.25%前後で推移しており、買入利回りは実勢と同水準であったが、応札は無かった。

22日には指値オペが10時10分に実施された（この日の応募締切は15時30分であった）。10年利付国債365回の買入利回りは0.250%であった。新発債である366回債の利回りは0.245%で推移した。オペには4,277億円の応札が見られた。

●レボ市場

今週のGC O/N物は、▲0.15～▲0.08%程度の水準で推移した。月曜～木曜にかけてのGC O/Nは、▲0.10～▲0.09%程度を中心に比較的狭いレンジで推移した。金曜のGC O/Nは、当初は前日までと同程度のレート水準で出合っていたが、後場になると、短国3Mの入札結果が強めだった影響もあって徐々にレートを下げ、▲0.15%程度まで出合う展開となった。

SCは、カレント銘柄近辺やチーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、入札ラッシュとなる中、海外勢の買いに支えられてか、全ゾーン底堅く推移した。

19日に実施された1Y物の入札は、やや弱めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、底堅く推移した。

21日に実施された6M物の入札は、しっかりとした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、強含んで推移した。

22日に実施された3M物の入札は、強めの結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットではショートカバーの動きも見られ、強含んで推移した。

●CP市場

CP発行市場は、20日、25日の五・十日発行を中心に鉄鋼、陸運、小売等幅広い業態が大型発行を実施し、週間償還総額2,100億円程度に対して、週間発行総額は1兆500億円程度に膨らんだ。市場残高は23兆円台前半から半ばでの推移となっており、先週から若干増加した。発行レートに関しては、銘柄毎にややばらつきはあるものの、引き続き概ね0%近傍の狭いレンジに足切水準が密集する案件が中心となっている。一方で、ロングタームの案件に関しては先行き不透明感からややビッドが入りにくい展開となっている。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レボレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
4/18（月）	26,799.71	0.240	126.64	△ 0.019	△ 0.091	5,655,600
4/19（火）	26,985.09	0.242	127.34	△ 0.017	△ 0.094	5,661,300
4/20（水）	27,217.85	0.250	129.40	△ 0.016	△ 0.096	5,640,000
4/21（木）	27,553.06	0.245	128.28	△ 0.016	△ 0.095	5,651,100
4/22（金）	27,105.26	0.245	128.61	△ 0.015	△ 0.094	5,657,600

来週（4月25日から4月28日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
4/25 (月)	3月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 2月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		
4/26 (火)	3月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 3月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30)	交付税借入 13,000億円 5/13借入	3月の米新築一戸建て販売件数 2月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 3月の米耐久財新規受注 4月の米CB消費者信頼感指数
4/27 (水)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~)	2Y 28,000億円 5/2発行	
4/28 (木)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望 3月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 3月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 3月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)		1-3月期の米GDP速報値
4/29 (金)	昭和の日		3月の米個人所得・消費支出 4月のシカゴPM景況感指数 4月のユーロ圏消費者物価指数速報値 1-3月期のユーロ圏GDP1次速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
4/25 (月)	▲ 1,900	▲ 13,300	▲ 15,200	国債買入 国債補完 CP買入 社債買入		4,200	4,000	▲ 11,200	TB3M発行▲59000償還50000 TB6M発行▲34000償還34500
4/26 (火)	▲ 3,000	9,000	6,000		100		0	6,000	
4/27 (水)	▲ 3,000	6,000	3,000	全店共通	▲ 2,300		▲ 2,300	700	
4/28 (木)	▲ 3,500	10,100	6,600	CP買入 新型コロナオペ	▲ 58,200	4,000	▲ 54,200	▲ 47,600	
4/29 (金)	昭和の日								
週間合計	▲ 11,400	11,800	400	—	▲ 60,700	8,200	▲ 52,500	▲ 52,100	

4/25は日銀予想、4/26以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き地銀業態を中心に調達ニーズの強い展開が見込まれる。連休を控えレートへの動向にも注目したい。

債券レポ市場のGC T/Nは、▲0.10%前後での推移が見込まれる。

短国市場は、来週は入札の予定はない。短国買入オペの有無に関しても注視したい。

CP市場は、大型連休を控え、事業法人の月末発行の動向が注目されるほか、25日に予定されているCP等買入オペのレート動向が注視される。

主要なイベントは、国内では27~28日に金融政策決定会合、28日に4-6月期日銀展望レポート、海外では、28日に1-3月期の米GDP速報値、29日に1-3月期のユーロ圏速報値GDP1次速報、4月のユーロ圏消費者物価指数速報値の発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入